

平成 29 年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第 56 回）

開催にあたって

学会長 梶山広美
公益社団法人 愛知県臨床検査技師会会長



このたび、平成 29 年度日臨技中部圏支部医学検査学会を平成 29 年 9 月 30 日（土）10 月 1 日（日）の両日、名古屋市内の名古屋国際会議場にて、公益社団法人愛知県臨床検査技師会が担当で開催いたします。

本学会は、昭和 37 年に開催された東海衛生検査学会を前身とする中部医学検査学会から日臨技中部圏支部医学検査学会へと移行し、今回で 56 回目の開催となります。前回愛知県担当で開催した第 50 回大会では「伝統を未来へ」をメインテーマとし、50 年の歴史を次世代へつなぐ学会としました。6 年の間に医療を取り巻く環境は、超少子・高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療提供の場の多様化により大きく変わってきました。そして、その変化に我々臨床検査技師は医療人として変革することが求められています。本学会では、前回のテーマから未来に向けての変革へバトンを投げ、「未来を担う医療人として～As medical professionals responsible for the future～」をテーマとしました。「パラダイムシフト」がキーとなる下記 4 つの柱を立て、未来を担う医療人として何が必要か、どう行動するかを考える学会にしたいと思います。

- 新しく臨床検査技師を目指す学生とともに未来を考える
- キャリアに合わせた知識の獲得
- パラダイムシフトの具体的な行動と検証
- 各領域で従事する臨床検査技師がこの学会に集結する場に

学会メインテーマにおける上記 4 つの柱によるシンポジウムと、部門別企画はサブテーマ「愛知からの変革 チーム医療、先駆的医療への取組み」を共通企画とし、より高度な技術や知識の習得と共に、今後臨床検査技師の現場において真に求められているものは何かを過去を振り返りながら考える場とします。講演企画は、公開講演として近畿大学大学院農学研究科・水産研究所教授澤田好史先生に「クロマグロ完全養殖技術 - 過去・現在・未来 - 」と株式会社明治食機能科学研究所機能性評価研究二部課長の夏目みどり先生に「チョコレートで美味しく健康になろう」の 2 題、特別公演は、東京大学大学院医系研究科疾患生命工学センター分子病態医科学部門教授宮崎徹先生に「血中タンパク質 AIM による生体内異物除去機構を基礎とした新しい疾患治療の展望」をご講演いただきます。また、今回は、日臨技企画の「学生フォーラム」では、養成校の学生が主体となり討論会を企画しており、学会の柱である新しく臨床検査技師を目指す学生とともに未来を考える場となります。また、中高校生向け進学支援ガイダンスでは、中部圏地区の養成校が 8 校集結し合同進学相談会を開催します。

日臨技中部圏支部各県の相互交流として、この名古屋に日臨技会員並びに賛助会員、養成校の教員や学生が集い、臨床検査技師の未来を語り合いたいと思います。本学会に一人でも多くの会員並びに学生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。